

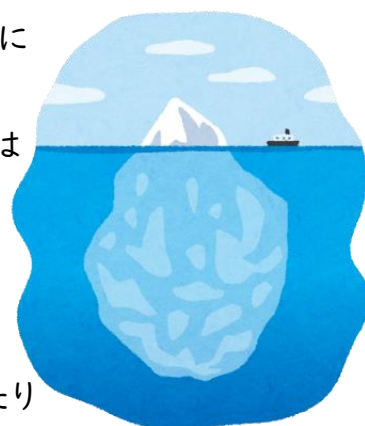
深谷中だより

NO. 213
令和5年11月1日
横浜市立深谷中学校
校長 榎田 卓央

歌声の向こう側

副校長 白倉輝満

新年度になり、はや半年が経過しました。この期間を通じて、お子さまの成長はいかがでしたか？成長には、周りが気づきやすい成長と、周りが気づきにくい成長があります。例えば、前者は身長や声など目や耳で捉えることができるような成長。後者は、考え方の柔軟性や、様々な方向からとらえなおしができるような心の成長などです。これらは、海に浮かぶ氷山に例えられることがあります。氷山は、海面に見えているところごく一部で、ほとんどが海面下の見えにくいところにあります。そして、見えているところは当然見えにくいところの影響を大きく受けています。



10月は「合唱コンクール」がありました。当日の立派な歌唱披露、伴奏や指揮、心震わせ歌おうとする姿勢、みんな目を輝かせて本当にすてきな活動でした。詳細は後述に譲りますが、これらは、見えたり聞こえたりするので、教室やご自宅で気づきやすいところと言えそうです。一方、「曲の選考過程」や「歌の練習過程」など、合唱をつくり上げていく活動を通して、子ども自身が「どう感じ」「何を考え」たのかは常に少しずつ「変化」しています。これらは周りからは見えにくいものです。しかし、この「変化」こそ、実は子どもの成長の大きな部分ではないかと思えます。もちろん、一人ひとりの個性や成長の道筋は千差万別で、他人との比較は意味がないことは言うまでもありません。

人には、基本的に他人から認められたい気持ちがあります。そこで、周りの大人が「見えにくい変化」に着目し、会話の中心に据えることで、お子さま自身も「どう感じ」「何を考え」たのかを重視し、思考を巡らせるようになると思います。お子さま自身もまだ自覚していない「心の内面」に、身近な大人が着目することで、子どもたちが「ありのままの自分に自信をもち、自分を大切にできる人」に育つことにつながっていくと、私は信じています。今回の合唱コンクールへの「取組」は、子どもたち一人ひとりが「内面⇌海面下」を成長させる機会として、最高の時間だったのではないのでしょうか。私たちは、これからも子どもたちの活躍や成長に期待をし、支え、見守っていきます。



合唱コンクール2023

～響け最強の歌声を～

10月12日(木)学校体育館にて、4年ぶりの合唱コンクールが開催されました。この日に向けて夏休み明けから、各学級で毎日練習をしてきました。集団で一つのものを積み重ね、当日はどのクラスも大きな舞台上それぞれの歌声を響かせることができました。今回の合唱コンクールへの取り組みを通して、団結力が深まったクラス、一人ひとりが意見を言えるようになったクラス…それぞれあると思います。今のクラスで過ごす時間も半年を切っています。この流れを止めずに、もっと素敵なクラスにしていってくださいね。各学年の最優秀賞に輝いたのは、1年2組、2年1組、3年1組でした。感動をありがとうございました。



合唱コンクール実行委員長 3年3組 米山 和月さん

こんにちは。合唱コンクール本番、そして、毎日のようにあった練習の日々も終わってしまいました。みなさんの素晴らしい発表を聴いて感動しました。合唱コンクールのために、たくさん努力してきたと思います。僕も最優秀賞になるためにクラスで団結力を深めてきました。結果は決まりましたが、あまり気にせず、クラスで1つの合唱を作り上げたことを誇りに思いましょう。保護者や地域の皆様にも全力で歌うかっこいい姿を見せられたと思います。委員のみんなの支えのおかげで、自分も楽しく委員会活動ができました。ありがとうございました。

